

## 1. 防衛省市ヶ谷駐屯地視察について

当所では、市ヶ谷記念館を視察した。当記念館は、三島由紀夫と楯の会が自衛隊ヘクターダーを呼掛け、事ならず、割腹自殺をした建物で有名である。同氏が立て籠もった部屋には当時の刀傷などが残り、当時のテレビ中継などが思い出された。また、東京裁判の裁判所となった所でもあり、社会科教科書などに見られた風景や写真などが興味深く視察出来た。

次に旧陸軍の防空壕なども視察したが、この狭い（一般のそれに比べれば広い）防空壕に立て籠もってまで戦争を継続しようとした当時の戦況と軍幹部の異常さを考えざるを得なかった。そんな意味でも一度はみておくべき場所との感想をもった。

その後、防衛大臣政務官に就任した中曽根康隆氏を訪問した。政務官応接室に貼ってあった日本周辺の地図に驚かされた。一般的な地図では日本を中心に南から描かれるが、該地図は北側から中国を中心として描かれていた。日本防衛という観点からは、このように描くのが常識とのこと。北側、中国からみると如何に日本が「邪魔な存在」なのか、尖閣諸島など人も住まない孤島ではあるが、戦略上如何に重要な場所であるか良く理解出来る。視点を換えただけで物事の見方や理解も変わるものだと感心した。

## 2. 地域医療機能推進機構視察について

ほとんど毎日というようにニュースに顔をだされる尾身茂氏に面談し、新型コロナウイルスの現状について説明を頂いた。尾身先生は、当会派大島会長の従弟に当たられるということもあり、終始笑顔で接して頂き、今後流行の主流となる変異型オミクロンは、感染力が強く今までの型と全く別物と考えて警戒した方が良い、とご教授して頂いた。その後、先生のおっしゃっていたように、オミクロン株の感染力は凄まじく社会に大きな被害・影響を与えている。

## 3. 国会研修 今後の新型コロナウイルス対策について 厚生労働省事吉田学務次官

新型コロナウイルスの現状について説明後、基本的な考え方として次の4本の柱を示され、今後のコロナ対策についてご説明頂いた。①医療提供体制の強化 ②ワクチン接種の促進 ③治療薬の確保 ④国民の仕事や生活の安定・安心を支える日常生活の回復。各説明の折々に厚労省官僚トップの日々のご苦労ご努力が推察・感じられ、それらに敬意を表するとともに、今更のように全国民的な災害・難題コロナ禍について真剣な取組が求められることを自覚した。

## 4. 国会研修 国・地方自治体におけるDXについて

自治行政局地域政策課地域情報企画室 加藤翔大 課長補佐

地方自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた総務省の主な取組について説明頂いた。しかし、DXの対象が多様な面に至ること、普段あまり耳にしなないどちらかといえば苦手な分野でもあり、また、時間が短かったことなどから、ご説明頂いた内

容の半分も理解出来なかったように感じた。しかしながら DX は国や自治体の情報のデジタル化、手続のオンライン化などを主な対象とし、その結果が広く国民生活に関係し影響を及ぼすものであること。また、その効果を普及・拡大させ、また恩恵を享受するためには、マイナンバーカードの普及が極めて重要であること。などを学んだ。苦手意識が先行し、避ける傾向のある DX 分野、真剣に取り組んで行かなければとの所感を得た。

会派名		新政同志会	氏名	茂木 清七
1	期 日	令和 3 年 12月 20 日 ( 月 )		
2	調査事項	午前防衛省見学、午後から国会議事堂見学から (JCHO) 独立行政法人地域医療機能推進機構		
3	所 感	調査後の考察 (感想、政策提言、本市にどのように活かせるか など) を記入		
<p>1、 防衛省市ヶ谷駐屯地視察と防衛政務官表敬訪問</p> <p>防衛省を訪問し、大本營地下壕など様々な施設を見学して戦争当時の大変さなど目のあたりにして来ました。今現在、ロシアとウクライナでの戦争が報じられていますが、戦争は二度と起こしてはならないと私達戦争を知らない者でも思います。</p> <p>その後、中曾根 康隆防衛政務官との意見交換し、日本の防衛体制など教えて頂きました。戦争に限らず、日本列島に頻りに起きている巨大地震にどのように対処していくのか地方と国との連携が重要であると再認識いたしました。沼田市における災害時の対応など、今一度考えて行かなくてはならないと思いました。</p> <p>2、地域医療機能推進機構 尾身 茂理事長訪問</p> <p>コロナウイルス感染症の新型、オミクロン株の今後の拡大がどの様になって広がるのか、いつコロナウイルス感染症が終息するのか今後の見通しなどについて意見交換を行いました。この感染を利根沼田でどの様に防いで行ったら良いのか、尾身先生の意見を聞きました。</p> <p>とにかく早くワクチン接種をして下さい、との事でした。オミクロン株が広がるのは仕方のない、今後は上手く付き合っていくしかない、with コロナの時代になっていくのだろうとの見解でした。</p> <p>今後は、沼田市としてどの様にコロナ感染拡大を最小減に抑え又、経済的に打撃を受けた事業者さんに沼田市として支援できるのか、市議会でも検討していかなくてはならないと考えます</p> <p>以上が私の所感となります。</p>				

会派名	新政同志会	氏名	三ツ石岩男
1	期 日	令和 3 年 12月 20 日 ( 月 )	
2	調査事項	午前防衛省見学、午後から国会議事堂見学から (JCHO) 独立行政法人地域医療機能推進機構	
3	所 感	調査後の考察 (感想、政策提言、本市にどのように活かせるか など) を記入	
<p>1, 防衛省見学、中曽根 康隆衆議院議員 (群馬 1 区) が防衛省政務次官就任を機に見学させて頂きました。広い防衛省内を結構歩きます。屋外に展示されているヘリに乗ることが出来たり、極東裁判の法廷を復元した市ヶ谷記念館を見学したりと貴重な体験が出来ました。私達大人が絶対に戦争には、いけないと強く思います。</p> <p>2, 国会見学会に参加したことで貴重な体験ができました。国会は、国の今後を決める重要な場所であると同時にとても歴史が深い場所でもありました。中央玄関や中央広間は、とても綺麗な造りで驚きました。</p> <p>国会には日々5,000 人の見学者が来るそうで、それだけこの国会は注目されているのだと思いました。私も市議会議員になり身の引き締まるおもいでした。</p> <p>3, コロナの影響で沼田市でも苦しんでいる人が沢山いますが、(JCHO) の尾身 茂先生の話の伺い、これから第 6 波が必ず来ると聞き人々の行動がかなり左右すると断言していましたそれから、2 週間目に第 6 波がきました。情報の分析は凄いなと思いそして、責任の重さを改めて思いました。</p> <p>本市もコロナに向けもう 1 度身を引き締めなければと、思いました。</p> <p>以上が私の感想になります。</p>			